

## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域 <del>連携</del> DMO・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	株式会社 南信州観光公社	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	長野県飯田市、松川町、高森町、大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、阿南町、下條村、天龍村、泰阜村	
所在地	長野県飯田市	
設立時期	平成13年1月9日	
職員数	4人	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 高橋 充「専従」 (出身組織名) (株)南信州観光公社	(株)南信州観光公社の代表として、地域の様々なパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
各種データの分析・収集の責任者(専門人材)	(氏名)「専従」 高橋 充 (出身組織名) (株)南信州観光公社	近畿日本ツーリスト(株)で8年間の勤務を経て、平成13年の(株)南信州観光公社設立準備から参画し、現在に至る。観光地域マーケティングについて高い知見と能力を持つ。
プロモーションの責任者(専門人材)	(氏名) 高瀬 剛「専従」 (出身組織名) (株)南信州観光公社	(株)南信州観光公社で12年間勤務。プロモーションに高い能力を持つ。旅行商品の造成販売のサポートも行える。
旅行商品の造成・販売の責任者(専門人材)	(氏名) 玉木 慎輔「専従」 (出身組織名) (株)南信州観光公社	(株)南信州観光公社で3年間勤務。旅行商品の造成・販売に高い能力を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	長野県観光部(情報提供、事業実施支援) 長野県下伊那地方事務所商工観光課(情報提供、区域内市町村間調整、事業実施支援) 南信州広域連合(情報提供、区域内市町村間調整、事業実施支援) 区域内市町村観光担当部局(事業実施支援)	
連携する事業者名及び役割	松川町交流センターみらい、高森町営農支援センターゆうき、NPO法人だいち、NPO法人たかぎ、(株)昼神温泉エリアサポート(地域DMO阿智☆昼神観光局)、(一社)信州アトム 及び圏域内各観光協会 *以上、着地型旅行商品開発及び事業実施支援	
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	(該当する要件) ①④ (概要) 多様な関係者が参加する会議及び日常的な調整を実務者レベルで行う会議の開催	
法人のこれまでの活動実績	(活動の概要) 体験プログラム及び体験旅行のコーディネート・企画開発・受入指導、一般旅行業務、観光案内所の運営、観光開発に関する設計並びにコンサルタント業務	

(別添) 様式 1

	<p>(定量的な評価) 平成 27 年度体験教育旅行受入数 81 校</p>
実施体制	<p>(実施体制の概要) (株)南信州観光公社が母体となり、行政や事業者などの出資者が意思決定に関与し、宿泊業者、飲食業者、農業者など多様な関係者が事業推進に参画するなど官民が密接に連携した運営を実施。</p> <p>(実施体制図)</p> <p>The diagram illustrates the implementation system of Nanshinshu Tourism Co., Ltd. At the top is the company name. Below it is the Shareholders' Meeting (held once a year), which includes all investors from 14 municipalities in the Iida and Ina areas and various businesses. Underneath is the Board of Directors (meeting 4 times a year). The core activities include various tourism projects, such as experiential tourism and regional collaboration projects. At the bottom, a box lists stakeholders: Iida City, Ina Prefecture, accommodation providers, food service providers, transportation providers, farmers, and local residents. A large blue arrow points upwards from this stakeholder box to the Shareholders' Meeting, labeled '連携' (collaboration) and '参画' (participation). Below the stakeholder list, a note states that investors and businesses are involved in decision-making, and relationships with other groups are managed to reach consensus during project advancement.</p> <p>各種事業の実施(体験型観光全般・地域連携事業)</p> <p>連携 参画</p> <p>飯田市 下伊那郡 宿泊業者 飲食事業者 交通事業者 農業者 地域住民</p> <p>出資者である行政、事業者が意思決定に関与 関係団体については事業推進の中で合意形成を図る</p>

## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

H8年から飯田市が行っていた体験教育旅行の事業を引き継ぐ形でH13年に会社を設立し、体験教育旅行の受入れを中心に、新規体験プログラムや着地型旅行商品の開発等を実施している。

設立以来、中心となって関わってきた飯田市との連携を機軸として、出資者である下伊那郡全13町村も含めた南信州全域を対象としたマネジメントを検討していきたい。

【観光客の実態等】

平成26年観光地利用者延数 3,863,600人

平成26年観光消費額 9,593,301,000円

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

アウトドアアクティビティ、農林業体験、農山村交流・田舎の生活体験、一本桜、いいだ人形劇フェスタ、元善光寺、飯田お練りまつり、霜月まつり、くだもの狩り、水引工芸、和菓子、りんご並木、天龍峡、天竜川下り、下栗の里

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

飯田市

中心市街地 17施設 1143名

郊外 9施設 873名

天龍峡 7施設 360名

遠山郷 10施設 329名

下伊那郡 主要30施設 4144名

【利便性：区域までの交通、域内交通】

区域までの交通 高速バス、JR

域内交通 路線バス、JR、タクシー

【外国人観光客への対応】

観光案内所に外国語（英語）対応できる人材を配置

## 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
顧客満足度	利用者の満足度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。

## 4. 戦略

### (1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・中央、南アルプスの山々や渓谷などの美しい自然</li><li>・下伊那全域に渡る良質な温泉施設</li><li>・日本の原風景が広がる遠山郷・下伊那南部</li><li>・諏訪、上伊那との連携や組み合わせが容易な下伊那北部</li><li>・一本桜の宝庫</li><li>・飯田型ツーリズム、体験型旅行の取り組み</li><li>・JR飯田線の秘境駅</li><li>・体験教育旅行の受入れ実績</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・関東圏、関西圏からのアクセスが不便</li><li>・二次交通が整備されていない</li><li>・認知度が低い（プロモーション不足）</li><li>・観光関連分野の人材不足</li></ul>
外部環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康ブーム、登山ブーム、ランニング・ワーキングブーム</li><li>・価値観、ライフスタイルの多様化</li><li>・自然や文化志向の体験型観光への需要</li><li>・三遠南信自動車道、リニア中央新幹線の開通</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・少子化、高齢化による旅行者の減少</li><li>・誘客競争の激化</li><li>・貸切バス等の新運賃・料金制度の導入</li></ul>

### (2) ターゲット

○第1ターゲット層 関東、中京、関西、中国方面の学校（教育旅行）
○選定の理由、○取組方針 今までの事業の柱でもあり、実績も一定の成果をあげている。また、市場としても今後拡大傾向にあるため。 新しいプログラムの開発や顧客に合わせたスケジュールの調整などに取り組み、満足度向上を図る。
○第2ターゲット層 都市部の中高年層
○選定の理由、○取組方針 他地域と比較して当該ターゲット層の来訪が著しく多く、また市場としても今後拡大傾向にあるため。 満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

(別添) 様式 1

(3) コンセプト

①コンセプト	「ほんもの体験」
②コンセプトの考え方	地元住民がインストラクターや案内人となり、旅行者は地域の中に入り込んで、一緒に自然や文化等を交流の中で体験することにより、「自然のめぐみ」「自然とともに生きる豊かさ」「人との和を育む力」を感じてもらう。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMOを中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を設けるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	アンケート等により利用施設に対する満足度調査を実施。
一元的な情報発信・プロモーション	ワンストップ窓口の実施（プログラムの手配、調整、コーディネート、精算の一切を行う）、HPを利用した効果的なプロモーション。

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

	単位	平成 25 年 (度)	平成 26 年 (度)	平成 27 年 (度)	平成 28 年 (度)	平成 29 年 (度)	平成 30 年 (度)
●観光消費額	百万円	10,213	9,593	9,593	9,740	9,680	9,720
●延べ宿泊者数	千人	792	783	783	790	789	792
●来訪者満足度					今後データを収集予定		
●リピーター率					今後データを収集予定		

(別添) 様式 1

(2) その他の目標

	単位	平成 25 年 (度)	平成 26 年 (度)	平成 27 年 (度)	平成 28 年 (度)	平成 29 年 (度)	平成 30 年 (度)
●体験教育旅行による地域への直接的経済効果	千円	341,000	294,500	299,500	380,000	330,000	350,000
●体験教育旅行受入団体数	団体	96	76	81	100	90	95

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
平成 25 年度	158,600,636 (円)	【収益事業収入】 158,600,636 (円)
平成 26 年度	130,127,596 (円)	【収益事業収入】 130,127,596 (円)
平成 27 年度	125,989,279 (円)	【収益事業収入】 125,989,279 (円)
平成 28 年度	185,000,000 (円)	【収益事業収入】 185,000,000 (円)
平成 29 年度	151,000,000 (円)	【収益事業収入】 151,000,000 (円)
平成 30 年度	166,000,000 (円)	【収益事業収入】 166,000,000 (円)

(2) 支出

年度	総支出	内訳
平成 25 年度	158,185,878 (円)	【委託業務費】 128,656,510 (円) 【一般管理費】 29,529,368 (円)
平成 26 年度	134,818,746 (円)	【委託業務費】 105,778,915 (円) 【一般管理費】 29,039,831 (円)
平成 27 年度	125,509,030 (円)	【委託業務費】 97,726,644 (円) 【一般管理費】 27,782,386 (円)
平成 28 年度	175,830,000 (円)	【委託業務費】 145,690,000 (円) 【一般管理費】 30,140,000 (円)
平成 29 年度	149,490,000 (円)	【委託業務費】 116,270,000 (円) 【一般管理費】 33,220,000 (円)
平成 30 年度	164,340,000 (円)	【委託業務費】 127,820,000 (円) 【一般管理費】 36,520,000 (円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

一定の収益が見込まれる体験教育旅行の事業収益を柱とした運営資金の確保

## 8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

長野県は、(株)南信州観光公社を、飯田市、松川町、高森町、大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、阿南町、下條村、天龍村、泰阜村における地域連携DMOとして登録したいので、(株)南信州観光公社とともに申請します。

飯田市、松川町、高森町、大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、阿南町、下條村、天龍村、泰阜村は、(株)南信州観光公社を飯田市、松川町、高森町、大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、阿南町、下條村、天龍村、泰阜村における地域連携DMOとして登録したいので申請します。

## 9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	佐々木 行博
担当部署名(役職)	飯田市産業経済部観光課エコツーリズム係
所在地	長野県飯田市本町1丁目2番地
電話番号(直通)	0265-22-4852
FAX番号	0265-22-4567
E-mail	ecotur@city.iida.nagano.jp

## 10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	長野県
担当者氏名	中島 邦雄
担当部署名(役職)	観光部山岳高原観光課(課長補佐兼係長)
所在地	長野県長野市大字南長野字幅下692の2
電話番号(直通)	026-235-7251(直通)
FAX番号	026-235-7257
E-mail	Mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

都道府県・市町村名	飯田市
担当者氏名	小林 美智子
担当部署名(役職)	飯田市産業経済部観光課エコツーリズム係 係長
所在地	長野県飯田市本町1丁目2番地
電話番号(直通)	0265-22-4852
FAX番号	0265-22-4567
E-mail	ecotur@city.iida.nagano.jp

## (別添) 様式 1

都道府県・市町村名	大鹿村
担当者氏名	中村 勝利
担当部署名 (役職)	大鹿村役場 産業建設課 商工観光係
所在地	下伊那郡大鹿村354
電話番号 (直通)	0265-39-2001 (代表)
FAX 番号	0265-39-2269
E-mail	kanko@vill.ooshika.lg.jp

都道府県・市町村名	松川町
担当者氏名	宮島 公香
担当部署名 (役職)	産業観光課 商工観光係 係長
所在地	松川町元大島3823
電話番号 (直通)	0265-34-7066
FAX 番号	0265-48-5233
E-mail	kanko@matsukawa-town.jp

都道府県・市町村名	高森町
担当者氏名	中塚 英幸
担当部署名 (役職)	産業課 課長
所在地	高森町下市田2183-1
電話番号 (直通)	0265-35-9405
FAX 番号	0265-35-8294
E-mail	hideyuki.n@town.takamori.nagano.jp

都道府県・市町村名	阿南町
担当者氏名	山崎 賢太郎
担当部署名 (役職)	振興課農業商工係 係長
所在地	下伊那郡阿南町東條58-1
電話番号 (直通)	0260-22-4055
FAX 番号	0260-22-2576
E-mail	sinkou@town.anan.nagano.jp

都道府県・市町村名	豊丘村
担当者氏名	牧野内 良幸
担当部署名 (役職)	産業建設課 商工林務係 主査
所在地	下伊那郡豊丘村大字神稻3120
電話番号 (直通)	0265-35-9056
FAX 番号	0265-35-9065
E-mail	syokorinmu@vill.nagano-toyooka.lg.jp

都道府県・市町村名	喬木村
担当者氏名	畔上 雅美
担当部署名 (役職)	産業振興課 商工観光係 係長
所在地	下伊那郡喬木村6664
電話番号 (直通)	0265-33-2001
FAX 番号	0265-33-3679
E-mail	masami@vill.takagi.nagano.jp



## (別添) 様式 1

都道府県・市町村名	阿智村
担当者氏名	熊谷 修一
担当部署名(役職)	地域経営課 商工観光政策係 係長
所在地	下伊那郡阿智村駒場483
電話番号(直通)	0265-43-2220
FAX番号	0265-43-2321
E-mail	kanko@vill.achi.nagano.jp

都道府県・市町村名	平谷村
担当者氏名	新井 淳
担当部署名(役職)	産業建設課 主事補
所在地	長野県下伊那郡平谷村354
電話番号(直通)	0265-48-2211
FAX番号	0265-48-2212
E-mail	sanken@vill.hiraya.nagano.jp

都道府県・市町村名	根羽村
担当者氏名	荒城 大智
担当部署名(役職)	振興課
所在地	長野県下伊那郡根羽村1762
電話番号(直通)	0265-49-2111
FAX番号	0265-49-2277
E-mail	Shinkou4102@nebamura.jp

都道府県・市町村名	売木村
担当者氏名	代田 浩雄
担当部署名(役職)	観光課 課長
所在地	長野県下伊那郡売木村543-1
電話番号(直通)	0260-28-2000
FAX番号	0260-28-1051
E-mail	kano@urugi.jp

都道府県・市町村名	下條村
担当者氏名	佐々木 洋平
担当部署名(役職)	振興課経済係 主任主査
所在地	下伊那郡下條村陸沢8801-1
電話番号(直通)	0260-27-2311
FAX番号	0260-27-3536
E-mail	sjkeizai@vill-shimojo.jp

都道府県・市町村名	天龍村
担当者氏名	市川 拓馬
担当部署名(役職)	振興課商工観光係 主事
所在地	下伊那郡天龍村平岡878
電話番号(直通)	0260-32-2001
FAX番号	0260-32-2525
E-mail	kanko@vill-tenryu.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	泰阜村
担当者氏名	長谷川 裕史
担当部署名 (役職)	振興課 観光交流係 係長
所在地	下伊那郡泰阜村 3 2 3 6 - 1
電話番号 (直通)	0 2 6 0 - 2 6 - 2 1 1 1
FAX 番号	0 2 6 0 - 2 6 - 2 5 5 3
E - m a i l	kankou@vill.yasuoka.nagano.jp

法人名: (株)南信州観光公社  
登録区分名: 広域連携DMO

# 感動体験 南信州 “ほんものの豊かさを知ってほしい”

【区域】長野県飯田市、松川町、高森町、大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、阿南町、下條村、天龍村、泰阜村

【設立時期】平成13年4月6日

【代表者】高橋 充

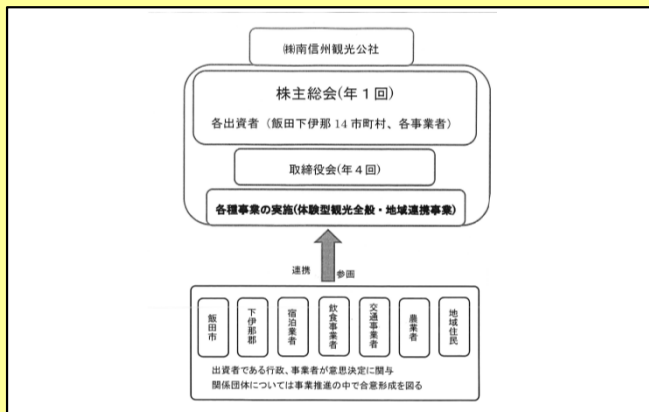
【マーケティング責任者】高橋 充

【職員数】4人

【連携する主な事業者】

松川町交流センターみらい、高森町営農支援センターゆうき、NPO法人だいち、NPO法人たかぎ、(株)昼神温泉エリアサポート(地域DMO阿智☆昼神観光局)(一社)信州アトム 及び圏域内各観光協会

(表: 実施体制)



(表: KPI(実績・目標))

	26年	27年	28年	29年	30年
旅行消費額(百万円)	9,593	9,593	9,740	9,680	9,720
延べ宿泊者数(千人)	783	783	790	789	792
来訪者満足度			今後データを収集予定		
リピーター率			今後データを収集予定		

## 「ほんものの体験」「感動体験」を通じた「本当の豊かさ、体験に関する取組」

「ほんものの体験」は、ここ南信州に住む人々がインストラクターや案内人となり、訪れた人とともに普段の仕事や暮らし、趣味と一緒に味わい、地域の自然や歴史をとともに学び楽しむといった体験です。これらの体験活動を通じて都市・農山村の様々な交流も生まれます。現代の都市生活において見失いがちな「自然のめぐみ」や「自然とともに生きる豊かさ」「人との和を育む力」を感じることでできるプログラムの実現を目指します。

## 体験教育旅行に関する取組

(株)南信州観光公社は、平成8年から飯田市が行っていた体験教育旅行の事業を引き継ぐ形で平成13年に会社を設立しました。その後、飯田市との連携を機軸として、出資者である下伊那郡全13町村も含めた南信州全域を対象としたマネジメントを展開し、全国的に体験教育旅行の先進的な取り組み事例として知られるようになりました。今後も引き続き圏域内の地方自治体や関連団体と連携して「農家民泊」「ほんものの体験プログラム」を軸に体験教育旅行の誘致、実施に取り組んでいきます。



## 着地型旅行商品の開発・実施に関する取組

(株)南信州観光公社では、「桜守の旅」「和菓子探訪の旅」「ウィンタートレッキング」「JR飯田線秘境駅トレッキング」など企画化された体験プログラムがあり、今後圏域内の地方公共団体をはじめ各種関連団体と連携する中で、きめ細かなマーケティング実施により着地型旅行商品の開発・実施に取り組み、圏域内への観光誘客や地域づくりに取り組めます。

## 体験型企業研修に関する取組

企業の社会的責任(CSR)の根本は、まずは社員を大切にしている視点に立って、その精神的充足度を高め、メンタル面でのケアにも役立つような取り組みが重要となります。その上で、企業人として地域にどのように貢献できるかを考えたり、社会の中での自らの存在意義を確かめるために、様々な立場の人々が関わり合いながら進めてきた地域の取り組みについて聞くことや、社会貢献活動を実践することを提案していきます。